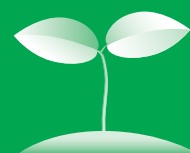


育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「やらせることも大切です」

最近、子どもの自主性が尊重され、子どもたちの主体的な活動や学習を重視することが求められています。確かにその通りで、自らやる気を出して取り組み、やりたくないことでも楽しく感じたり、より効果的にできたりします。また、「指示待ち族」と言われる子どもたちばかりになっても困りますので、まったくその通りだと思います。

ところが、自主的ということとが前面に出すぎて、大人は「やらせる」ことに罪悪感を感じるようになっていないでしょうか。子どもの意欲を喚起できないのは、関わる大人の力量不足で、大人が遠慮して関わりを工夫をしなければいけないと思ひ込み、子どもたちに「やらせる」ことを敬遠していいのでしょうか。

世の中、自分に興味を持てることばかりでないのは皆さんご存じの通りです。しかし、体験することとで生きる力が育ち、子どもたちの自信も育つのだと思います。

私が教育実習生の時、ある先生に「最近の中学生はこんなことができない」と話したことがあります。すると「君は、すべて自分でできるようになったと思ひ込んでいるようだが、たいていのことはまわりの人達にできるようにしてもらったおかげだよ」と言われ、自分の思ひ上がりに気づかされたことがあります。自分では気づかないうちに、やらされていたことが自分自身の行動や考えるものになっていったことに気づかされたのです。

簡単な計算にしてもそうです。その力は自分でつけてきたように思ひこみがちですが、その大部分は宿題などとして「やらされた」ことで身についたものなのです。考えてみれば、たくさんの方を「やらされた」おかげで、今の自分があるのです。

そう思うときに、この「やらせられ体験」を大切にしなければいけないと思うのです。

鏡野町生徒指導連絡協議会

上齋原中学校

岸

成具

のびのびひろば

★運動あそびだ〜いすき★

秋本番! 食欲の秋、読書の秋、運動の秋! いろんな秋がある中、大野保育園の子どもたちは、運動の秋を満喫しています。

ふれあいあそびでは、『おおかみさん』では、大きいクラスのお友だちがオオカミになり、小さいクラスのお友だちを追いかけていました! 小さいクラスのお友だちを追いかける早さを考えるなど、遊びの中で優しさや思いやりの心が育っています。競争では、勝った嬉しさ、負けた悔しさも味わっています。気持ちのいい汗をかいて、笑顔いっぱい毎日運動あそびを心も身体も思いっきり楽しんでます!



よーい! ドンツ!!



やった一等賞!!



ふれあい遊び
楽しい!



負けないぞ!

優しい
お姉さんが
守ってくれた♪



みんなの力を
あわせて!
そーれ!!!!



僕たちも
頑張るぞ〜♪

食べちゃうぞ!!!



(大野保育園)